

6日 月曜

箴言

12:17 真実の申し立てをする人は正しいことを言い、偽りの証人は嘘を告げる。

12:18 軽率に話して人を剣で刺すような者がいる。しかし、知恵のある人の舌は人を癒やす。

12:19 真実の唇はとこしえまでも堅く立つ。偽りの舌はまばたきの間だけ。

12:20 悪を企む者の心には欺きがあり、平和を図る人には喜びがある。

12:21 正しい人には何の害悪も降りかからない。悪しき者はわざわいで満ちる。

12:22 偽りの唇は【主】に忌み嫌われ、真実を行う者は主に喜ばれる。

12:23 賢い人は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。

12:24 勤勉な者の手は支配するが、無精者は苦役に服する。

12:25 心の不安は人を落ち込ませ、親切なことは人を喜ばせる。

12:26 正しい人はその友の道案内。悪しき者の道は自らを迷わせる。

12:27 無精者は獲物を火であぶらない。勤勉さは人間の貴重な財産である。

12:28 義の道にはいのちがあり、その道筋には死がない。

申し立てや話に、真実と知恵があるようにしましょう。「率直に」何でもありのままを話して、自分は間違っていないと言っても、人を「剣で刺す」ような発言は「軽率」なだけです。「知恵ある」人は癒すのだと知りましょう。

自分が賢いと思って、誇ったりマウントしたりするのは、人から見たら「愚か者」であることが見え見えます。

しもべのような仕事は好まない人も多いでしょう



が、勤勉にこれを成し通せば、必ずや人を「支配」するほどに、力あるものとなることを知って励みましょう。

心の不安を訴えるだけの人ではなく、親切なことばで人を喜ばせることもしましょう。また自分には財産がないと嘆いている人は、「勤勉」に生きることを始めて、それを「財産」としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

